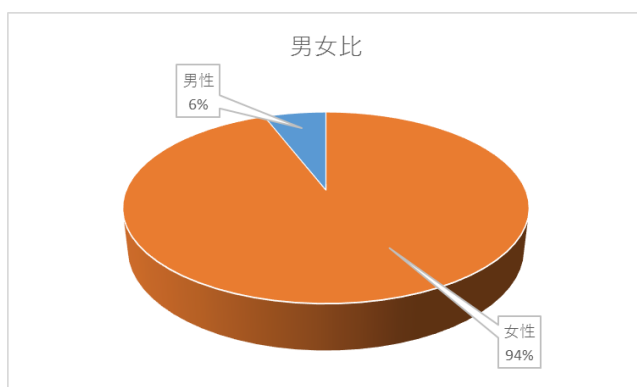


日本動物看護学会 第60回例会 関西地区第11回例会  
アンケート結果報告

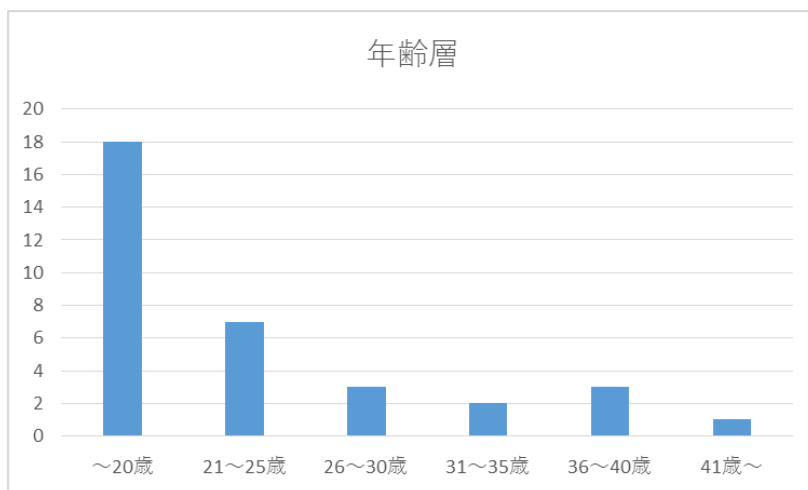
参加者 63 名のうち、来賓、運営委員を除く（シンポジウムパネリスト含む）40 名をアンケートの対象とし、回収枚数は 34 枚で回収率は 85%であった。

1. 性別



性別は 40 名中女性 32 名、男性 2 名であった。

2. 年齢

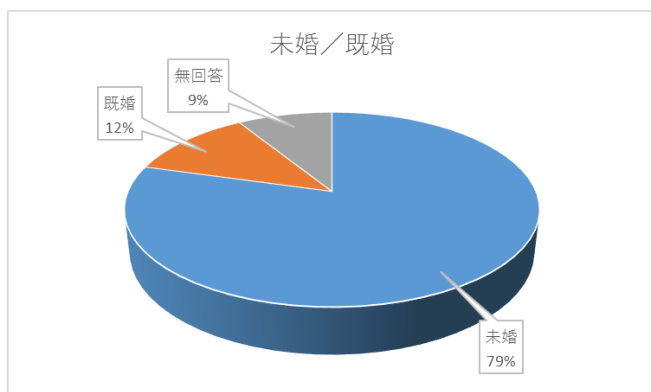


年齢層は、20 歳以下が 18 名、21～25 歳が 7 名、26～30 歳が 3 名、31～35 歳が 2 名、36～40 歳が 3 名、41 歳以上が 1 名であった。

20 歳未満が多いのは、昨年と今年の会場校の学生が多数参加していたためと思われる。

また、21～25 歳が次に多いのは、若年層が動物看護師という職業の将来性について注目している現れではないかと推察される。

### 3. 未婚／既婚

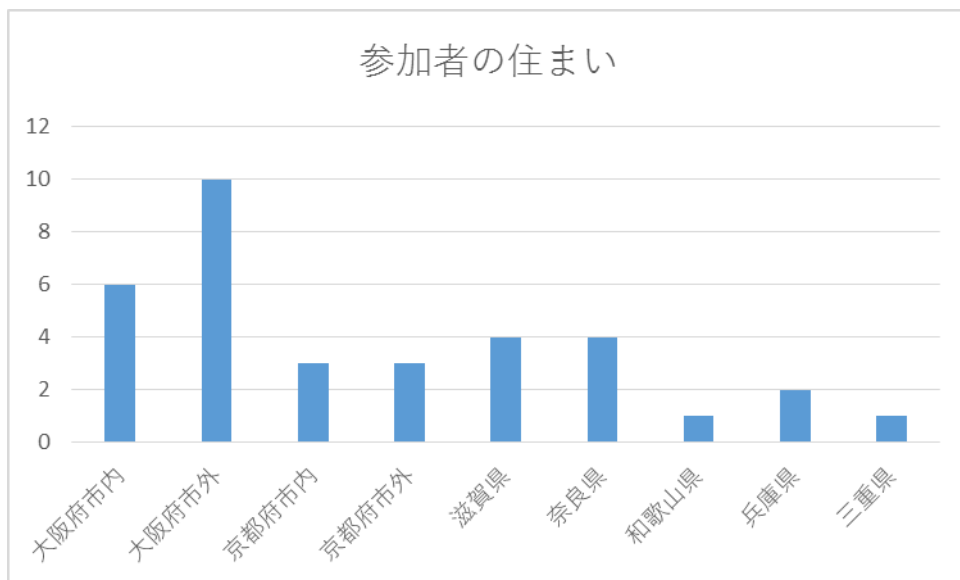


未婚者は27名、既婚者は4名、無回答が3名であった。  
学生を除いても未婚者が多く、若年層の参加者が多いことを踏まえたとしても、晩婚化や結婚を選択しない動物看護師が多いのかもしれない。

### 4. 離職中／育休中

離職中が1名、育休中が0名、無回答が33名であった。

### 5. 参加者の住まい

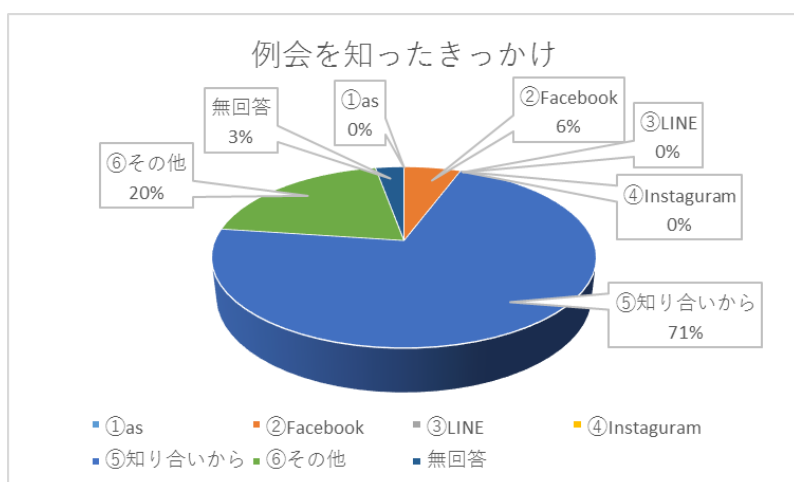


大阪市内が6名、大阪市外（堺市、茨木市、門真市、松原市、枚方市、寝屋川市、阪南市）が10名、京都市内が3名、京都市外（宇治市、城陽市、福知山市）が3名、滋賀県（大津市、守山市）が4名、奈良県（奈良市、橿原市、大和郡山市、生駒市）が4名、和歌山県

(和歌山市) が 1 名、兵庫県 (三田市、尼崎市) が 2 名、三重県 (名張市) が 1 名であった。

大阪府からの参加者が多いのは、会場校に近いからと思われる。

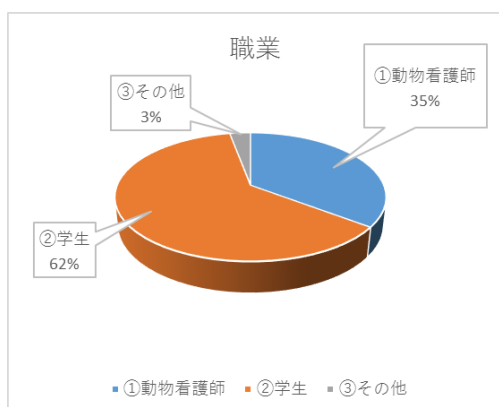
## 6. 本例会を知ったきっかけ



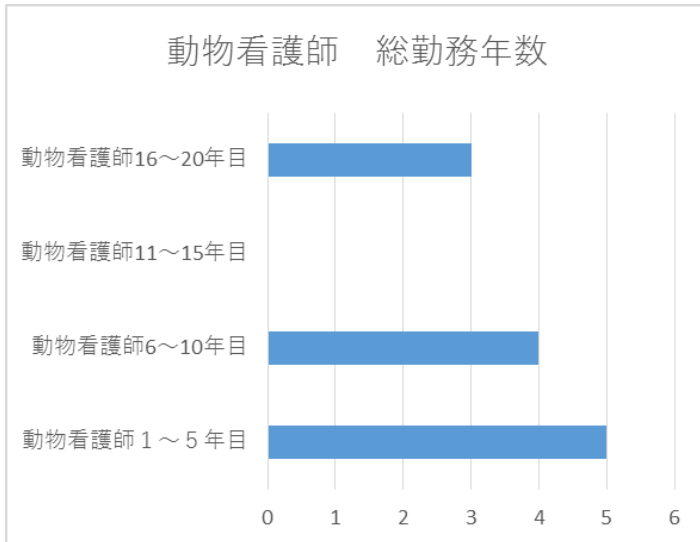
Facebook からが 2 名、知り合いからが 25 名、その他 (学校・学校掲示物から) が 7 名、無回答が 1 名、as・LINE・Instaguram からは 0 名であった。

知り合いからが最も多く、地道な呼びかけがきっかけとしては強いと感じる。上記で挙げた参加者の住まいが近畿圏内であったことも、知り合いからの呼びかけによるものと思われる。SNS がきっかけであるという回答が思いのほか少なく、昨今の SNS の普及を考えると、より幅広く参加者を集めるためにも積極的に発信していく必要があると感じる。

## 7. 現在の職業 (動物看護師は総勤務年数 (自営年数も含む) も回答)



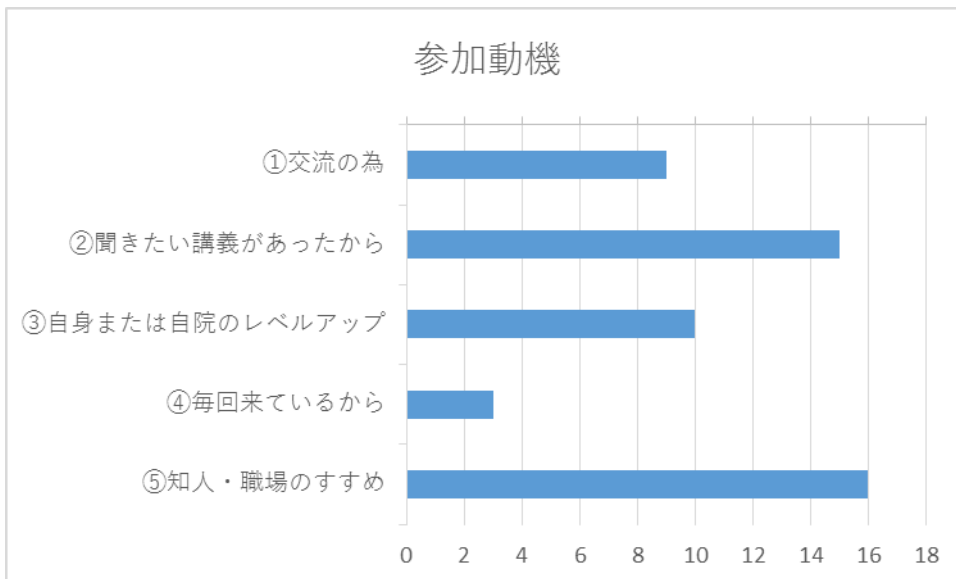
動物看護師が 12 名、学生が 21 名、その他 (専門学校講師) が 1 名で、学生が最も多い結果となった。



動物看護師と回答した参加者の勤務年数は、1～5年が5名、6～10年が4名、11～15年が0名、16～20年が3名であった。

10年以下の勤務年数の参加者がほとんどであり、これからも勤務先で活躍する手段を模索し、生涯動物看護師の職に就き続けることの関心の高さが分かる。

#### 8. 参加動機（複数回答可）



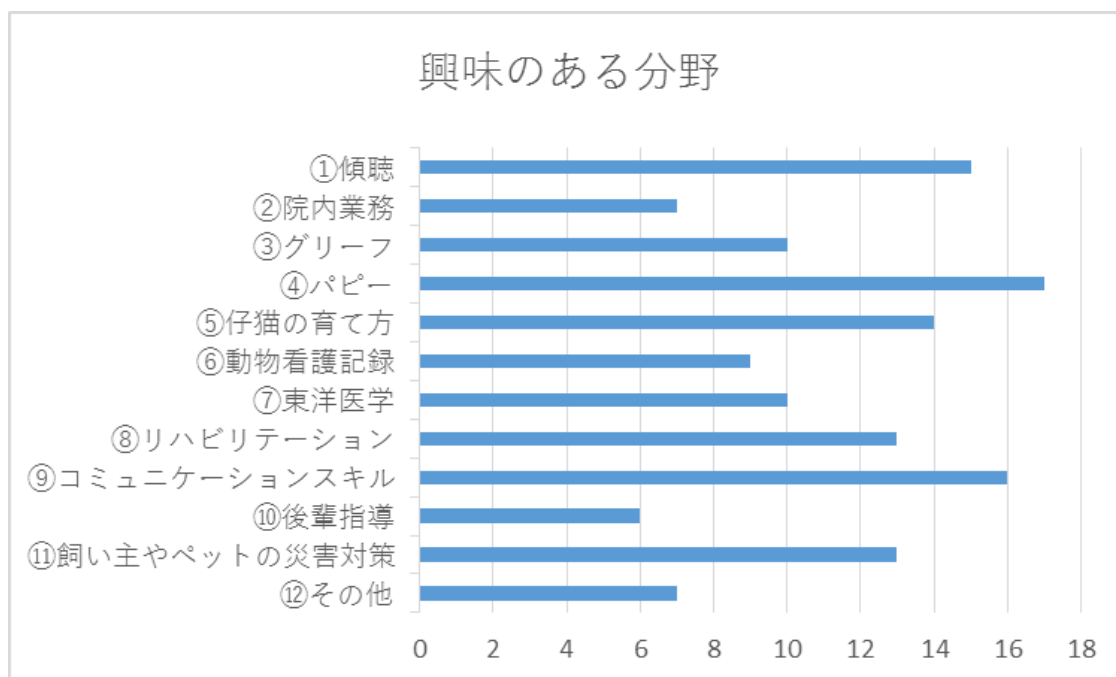
交流の為が9名、聞きたい講義があったからが15名、自身または自院のレベルアップのためが10名、毎回来ているからが3名、知人・職場のすすめが16名であった。

知人・職場のすすめが多いのは、先に挙げた本例会を知ったきっかけに、知り合いからの回答が多かったためと思われる。また、シンポジウムや教育講演の内容から、レベルアップ

のための参加が多かったことも推察される。

毎回来ているからというありがたい回答もあったが、回答者の割合としては少なく、今後も需要に合った内容且つ、興味を持ってもらえる内容を提供し続ける必要があることがわかる。

## 9. 興味のある分野

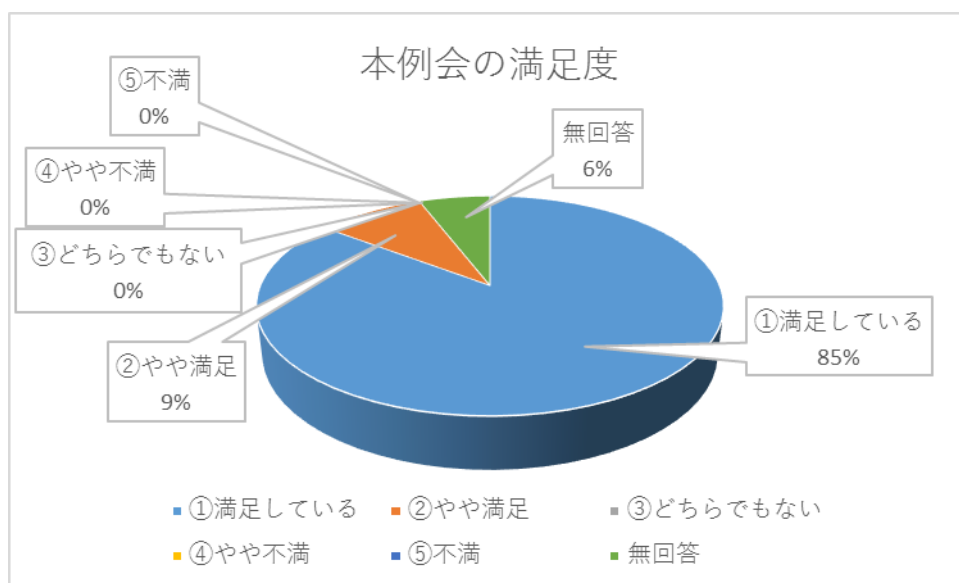


傾聴が15名、院内業務が7名、グリーフが10名、パピーが17名、子猫の育て方が14名、動物看護記録が9名、東洋医学が10名、リハビリテーションが13名、コミュニケーションスキルが16名、後輩指導が6名、飼い主やペットの災害対策が13名、その他（減量、栄養指導、マッサージ、動物の行動や顔つきでどう入院管理を考えるか、介護、動物看護学生の教育）が7名であった。

シンポジウムの内容にもあった、傾聴、パピー、リハビリテーションが多く、その他に減量・栄養指導が挙げられていることから、今例会をきっかけにより興味を持ってもらったのではないかと思う。コミュニケーションスキルが多かったのも、その影響ではないかと考えられる。災害対策については、昨今の自然災害により注目されたのではないかとと思われる。

今後は専門的な内容に特化したテーマで開催すると、参加者の増加に繋がるかもしれない。

## 10. 本例会全体の評価



満足しているが 29 名、やや満足が 3 名、無回答が 2 名、どちらでもない、やや不満、不満は 0 名であった。

例会中や休憩時間の会場内の様子から、小規模ではあったものの随所で盛り上がりを見せたこともあり、概ね好評であったという喜ばしい結果に繋がったと考える。次回の大会に、この結果をうまく結び付けられるよう、工夫を凝らす必要がある。

## 11. ご意見・ご要望について

・シンポジウムはとても楽しく聴講させていただきました。このようなシンポジウムもどんどんあったらいいと思いました。関西例会、今後も大きく活躍していただけるよう期待しております！

・初めて参加して緊張しましたが、とても勉強になり次回も参加したいと思いました。

・今回初めての例会で緊張していましたが、勉強になることが沢山あり、充実した 1 日になりました。これから先のことを考えるのに必要だと感じたので活かしていきたいと思いません。

・様々な分野で活躍されている看護師さんのお話を聞くことが出来とても興味深く、面白かったです。いろいろな方面の看護が知ることができ、今後にかかしていきたいです。

・自分がしたい職業に関するいま輝いている方々を見ることができてすごく刺激的でした。また阿部先生の的確な質問・まとめに助かり楽しく聞けました。

・今回、この学会に参加して本当に良かったです。阿部先生の質問が全て自分が知りたいと思っていたことだったのですごいいました。短い時間でしたが貴重な内容を聞いて良かったです。

・今回このセミナーで聞けないことを聞けてすごい参加して良かったなと思いました。来年も自分のレベルアップのために参加させてほしいと思います。

・貴重なお話が聞けてとても勉強になりました。動物看護だけでなく人として必要なこと・大事なことも聞いたのでこれから活かしていきたいと思います。

・10月より JAHA こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座のベーシック講座を受講しており、インストラクターとして動物看護師をされている中村さんに出会えたことや、おこしやす会や山田先生の授業でお会いした森さんに再びお会いできたことが本当に嬉しかったので、VNになってからも積極的に参加したいと思います。

・私は将来、リハビリに関わっていけるようになりたいと考えています。リハビリに関わっていくために必要な勉強など学べて良かったです。

・動物看護師として大切なことを沢山学べたので、学んだことを活かすことが出来るように日々努力したいです。また、疑問に思ったことをその場で質問することができ、次のステップアップにつなげられるので、とても濃い時間を過ごすことができました。来年も参加したいです。

・獣医師の先生の視点だけではなく動物看護師の方から見た意見等を拝聴でき、とても勉強になりました。また、それぞれの動物病院での工夫などもポスターで分かりやすく発表されていて、動物病院就職後に飼い主さんや動物たち、またその動物病院に関わる全ての人が気持ちよく利用できるようにできればと思いました。

#### <まとめ>

アンケート結果より、今例会においては将来への展望を模索する若年層の参加者が多かったことが分かった。学生の参加も多く、勤務後も参加してもらえるよう、広く目につく方法での広報活動の必要性がある。今回きっかけとして少なかった SNS の活用についても、より良い方法を模索し、うまく情報発信を行うことで、参加者増加に繋がるのではないかと考える。また、知人からのすすめで認知・参加した方が多いことから、直接的な広報活動も継続して必要である。

聞きたい講義があったからや、レベルアップのために参加した方が多く、興味のある分野においても、専門的内容に特化したテーマでの開催が望ましい。通常業務から更に一步踏み出した、新しいスキルを身に付け活かすことで、自身のレベルアップや自院への貢献だけでなく、延いては来院動物へのより細やかな看護に繋がると感じた。

内容以外にも進行方法によって、参加者の気持ちをより惹きつけることができることがわかり、運営側の経験値の必要性を強く感じた。

関西地区第 11 回例会  
副運営委員長 有富 春菜